

マルセイユ 2024 年 7 月 29 日

[プレスリリース]

公益財団法人 日本セーリング連盟

ウインドサーフィン種目、富澤選手は暫定 6 位発進 スキフ種目、田中／永松組は 6 レースを終え暫定 7 位



レース日 2 日目。マルセイユは今日も快晴、真夏の日差しが照りつける暑い一日となりました。

風は朝から風が弱い予報でレースができるか心配されましたが、お昼前に男子スキフ種目の 49er 級が、続いて女子スキフ種目の 49erFX 級が出艇すると、ほどなく男女のウインドサーフィン種目もレース海面へと向かい、予定していた 4 種目で競技が始まりました。

昨日 1 レースもできなかったウインドサーフィン種目は、わずかに風が上がった時間帯を見計らってレースを実施。第 1 レース、富澤選手は得意な風下側からのスタートを狙い、絶好のタイミングでスタートすると、そのまま上位をキープし 6 位でフィニッシュ。本人曰く「上出来の結果」でレースを終えました。

続く第 2 レースはスタートで大きく出遅れ苦しい展開となりましたが、終盤で風がなくなりレースはキャンセルに。しばらく待機しましたが風は吹かず、男子は 1 レースで競技終了となりました。

男子ウインドサーフィン種目の暫定トップは、地元フランスの優勝候補、Nicolas Goyard 選手です。富澤選手はレース前、Goyard 選手と接触しフォイルが破損するアクシデントに見舞われましたが、なんとか初日を踏みとどまり暫定 6 位です。

女子スキフ種目・49erFX 級の田中美紗樹／永松瀬羅組は得意な軽風コンディションでしたが、チョッピーな波にうまく合わせることができず今日の 3 レース、14 位、12 位、11 位で終え、暫定 7 位となりました。

昨日からは順位を落としましたが、今日最後の第 6 レースでは、ほぼ風がなくなった最終レグでも永松選手が巧みなクルークワークでジェネカーに風をとらえ続けてスポードを維持していました。軽風下での永松選手のジェネカーの扱いのうまさは、田中選手も全幅の信頼を寄せており、トップ選手も一目を置くテクニックです。

明日は良い風が吹く予報です。スキフ種目は 3 レース、スケジュールどおりにレースがこなせていないウインドサーフィン種目は、明日 5 レースを行う予定です。
(レーススケジュールはコンディションによって変更されますので、必ず最新情報をご確認ください)

成績 & スケジュール（ワールドセーリング五輪公式大会サイト）

<https://paris2024.sailing.org/racing/results-centre/>

[選手コメント]

49erFX 級スキッパー・田中美紗樹選手

「風は得意な軽風域でしたが、潮の影響もあり、細かく波立つ海面にうまく対応できませんでした。特に 1 レース目が苦戦しました。2 レース目、3 レース目は徐々に自分たちの走りができるようになりましたが、レースの展開にうまくついていけずもったいないことをしたなと思います。明日は気持ちを切り替えていきます」

49erFX 級クルー・永松瀬羅選手

「1 レース目、スタート前に中国艇と接触するトラブルがあり、もしかしたらそれでちょっと冷静なスタートができなかったのかもしれませんが。3 レース目は風が落ちましたが、とにかくジェネカーを張り続けることに集中しました。張り続けられれば風がながれてスピードに繋がり、先行艇に追いつくチャンスがあるのでがんばりました」

iQFOiL 級・富澤慎選手

「最初のレースなので、得意な下側マークギリギリを狙っていこうと思っていました。狙い取り、すごく良いスタートができたのですが、周り上手い選手ばかりなので相手も速かったですね。他の国の選手は皆、目の色が変わっていましたが、自分は冷静でいられました。それは、今回はチャレンジャーという立場だからだと思います。今日の 6 番という成績は花丸二重丸という感じです。これまでは初日がいいと守る気持ちになっていましたが、今回は今日のことはなかったことにして、明日が初日の気持ちで攻め続けていきます」

本件に関するお問い合わせ先

日本セーリング連盟 広報委員会 kohou@jsaf.or.jp

現地（西朝子）sailingnishi@gmail.com

+81-90-1042-9262（WhatsApp 等のアプリからおかけください）

JSAF 公式 [ウェブサイト](#) [Facebook](#) [X\(旧 Twitter\)](#) [Instagram](#)

[特設サイト](#) [代表 Instagram](#)